



2026年2月20日

各 位

会 社 名 AZ-COM丸和ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 和佐見 勝
(コード番号: 9090 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取締役専務執行役員経営管理グループ長
葛野 正直
(TEL 048-991-1000)

新物流センター「AZ-COM Matsubushi WEST」建設に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、中期経営計画における「収益基盤の拡充によるトップライ
ンの向上」の一環として、主要荷主様の中長期的な事業成長を物流面から支える新たな首都圏基幹物
流センター「AZ-COM Matsubushi WEST」の建設を決議いたしました。

当社は既に埼玉県松伏田島産業団地内に物流施設 (AZ-COM Matsubushi EAST) を保有、稼働し
ていますが、主要取引先である(株)マツキヨココカラ&カンパニー様 (以下、MCC様) のロジスティ
クス業務 (物流センター機能) 高度化に向けた「価値共創に向けたビジネスインフラへの投資」の一
環として、『AZ-COM Matsubushi WEST』を新規建設し、MCC様の物流改革を引続き推し進めてい
くことを計画しております。

『AZ-COM Matsubushi (WEST・EAST)』は、都心から25km圏内の立地優位性に加え、昨年の
東埼玉道路開通により利便性が一層向上しているなかで、首都圏全域に広がる当社グループの配送ネ
ットワークの中核としての役割のみならず、両棟ともに免震構造採用によりBCP物流拠点としての
機能も兼ね備えた地域社会の安全・安心を担い、経済社会の変化に対応した最先端設備を有する総合
物流プラットフォームの構築を目的としております。

本投資の実現により、中期経営計画の柱である『高収益企業づくり』に向けた収益基盤強化を図り、
安定的かつ持続的な企業価値向上を目指してまいります。

記

1. 新物流センター概要

- (1) 名称 AZ-COM Matsubushi WEST
- (2) 所在地 埼玉県北葛飾郡松伏町田島南 1-1 [※1]
- (3) 敷地面積 116,379.45 m² (35,204.78 坪/2022年7月取得の土地全体面積)
- (4) 延床面積 121,370.16 m² (36,714.47 坪)
- (5) 構造等 PCaPC 造、免震構造、非常用発電機 (1,400KVA)、顔認証セキュリティ など
- (6) 工事期間 着工 2026年3月、竣工 2028年9月 (予定)
- (7) 総投資額 489 億円
- (8) 資金計画 自己資金および金融機関からの借入

[注] 2023年4月21日付「新規食品物流センター建設及びシンジケーション方式によるコミットメ
ント期間付タームローン契約締結に関するお知らせ」でお知らせしましたとおり、同地での物
流センター建設は1期、2期に分けて進めてまいりましたが、本件は2期工事となります。

[※1] 「東埼玉道路」(2025年6月開通) に隣接しており、将来的には高速道路 (外環道) へのアク
セスが格段に改善される見込みであります。さらに、後年の専用部開通 (高架) に伴い、河
川氾濫による浸水想定区域を回避するネットワークが形成され、災害時の支援活動や物資輸
送への貢献が大いに期待できます。

2. 業績に与える影響

本物流センター建設は、2028年9月竣工、翌年4月頃の稼働開始を予定しているため、当社グループにおける2026年3月期の連結業績に与える影響は軽微ですが、今後本件に伴う重大な影響を認識した場合には、速やかに情報開示を行うことといたします。

以上

【AZ-COM Matsubushi 将来予想図（全景）】



**AZCOM Matusushi
ロケーション**

AZ-COM Matsubushiは物流プラットフォームを通じて、サプライチェーン上の「ムダな在庫」「ムリ・ムダな配送」を排除した圧倒的な物流効率化を実現します。



常磐道	流山IC	15分
圏央道	幸手IC	30分
東北道	浦和IC	30分
外環自動車道	三郷IC	20分



**東埼玉道路
一部開通
(2025年6月)**

東埼玉道路（八潮市の外環道～春日部市の国道16号、約17.6km）は、2025年6月1日に吉川市川線～松伏町田島の3.8kmが開通し、既開通区間5.7kmと合わせて起点から計9.5kmが開通しています。東北自動車道や常磐自動車道などの高速道路を補完し、国道4号の交通渋滞の緩和や東埼玉道路沿線の開発事業の支援、災害時の代替路確保などに寄与します。

【WEST 完成予想図（近景／奥は EAST）】

